

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



今年度最後の授業参観が行われました！

2月2日（金）5限目に、今年度最後の授業参観が行われました。昨年度の今頃は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、人数制限や検温をお願いしていましたが、第5類に移行したことにより、コロナ禍以前のような「制限なし」の授業参観ができるようになってきました。しかし、津市内でも、まだまだインフルエンザが流行していることや、新型コロナウイルス感染症の感染がじわじわと拡大してきていることから、最低限の感染対策は必要です。残り少なくなってきた今年度の学校生活を、みんなで楽しく過ごすことができるように、今後も、感染状況に気を配りながら感染対策に努めていきます。

さて、授業参観では、タブレット端末を活用したり、グループで話し合ったりするなど、様々な学習形態での学習が見られました。子どもたちは、その中で、生き生きと発表したり、活動したりする姿が見られました。この1年の間、個人差はありますが、一人ひとり確実に成長している姿が見られ、大変うれしく思います。保護者の皆様の中にも、我が子の成長している姿を感じ取った方がいたのではないのでしょうか。保護者の皆様、お忙しいお仕事の合間を縫いながら参観していただき、本当にありがとうございました。

【授業の様子】



1年生 国語科



2年生 体育科



3年生 算数科



4年生 算数科



5年生 理科



6年生 理科

大谷選手から寄贈されたグローブを使ってみたよ！

2月1日（木）1限目、2年生は体育科の時間の縄跳び学習の合間に、大谷翔平選手に寄贈していただいたグローブを使ってみました。みんなが同時に使うことができないため、みんなが縄跳びの個人練習をしているときに、担任の先生から呼ばれた子から順番に担任の先生とキャッチボールをしてみました。もちろん、初めてキャッチボールをする子がいるので、転がしたボールをグローブで捕るところから始めました。グローブの使い方が分からない子は、上からグローブをかぶせるようにボールを捕っていました。また、初めてグローブをはめる子には、グローブのはめ方から教えていました。自分たちが小学生の時には、ほとんどの男子が子ども会のソフトボールをしていたり、友だち同士で野球をしたりしていたので、どの子もグローブは必需品でした。今の時代は、放課後の過ごし方が多様化し、スポーツそのものも多様化しているので、野球に関心のある子は少なくなっています。大谷選手が願っているように、寄贈されたグローブをきっかけに、少しでも野球に関心のある子が増えたらと思いますが、子どもたちをみていると、野球も含めたスポーツをするための基礎となる運動能力が低下していることが気になります。学校としては、寄贈されたグローブやサッカーボールをきっかけに、身体を動かすことの好きな子が増えてほしいと願っています。最近の学校体育も、運動能力を高めることよりも、運動することが好きになることを重視して進めています。「生涯運動を続けることにつながる」学校体育が求められているのです。



体育館の床の修繕工事について

津市内では、体育館の老朽化が進んでいる小中学校がたくさんあります。該当する学校は、何年も前から体育館の改修を要望していますが、財政的に困難であることから、体育館を改修するのではなく、必要なところから修繕していくという方向で進んでいます。栗真小学校の体育館も対象となっていますが、老朽化がかなり進み、痛みが激しくなっている床の修繕がようやく認められ、今年度の秋に修繕計画が示されるに至りました。計画では、体育館の床の修繕を毎年1／4面ずつ4年間かけて実施するというものです。今年度については、1月末に完了しました。来年度は、GW前後に着手されるとのことです。先日の授業参観で体育館の授業を参観された保護者の方は、お気づきになったと思いますが、体育館への入口側の床1／4面が明るめの色調になっていたと思います。なお、修繕された床の面はグリップ力が高まり、滑りにくくなっています。利用時には、修繕の終わっていない箇所との違いに気をつけながらご利用ください。

